



吉井とおるの議員活動にいつもご支援をいただき感謝と御礼を申し上げます。2017年6月から農政委員会と新幹線・総合交通体系対策特別委員会に所属が変わり、また12月に設置されたJR北海道の経営問題を集中的に議論する北海道地方路線問題調査特別委員会の理事に就任させて頂くことになりました。2018年は北海道命名から150年の節目の年。北海道の価値を世界に発信するとともに大衆の目線で課題解決に力を尽くして参ります。

メディカルウイング就航 医療搬送に実績

医療過疎地域の重度な患者などを専門の医療機関に送る患者搬送用の小型ジェット機「メディカルウイング」が2017年7月末に就航、小児先天性疾患の新生児や血液系疾患の女性など3カ月間で8件の搬送実績を取めました。ドクターヘリは全道4機体制となりましたが、圏域を越えた搬送には対応できないためメディカルウイング導入を進めてきました。当面は「計画搬送」で重度の心疾患など高度な専門医療を必要とする患者を対象に日程や医師などを決めて運航します。今後は、災害時などの緊急搬送も対象とするよう要望。札幌医大が取り組む脊髄損傷の再生医療の治療機会を全国の患者に提供できる可能性もあり、引き続き拡充を求めています。



メディカルウイングの就航式

肢体不自由児総合療育センターの建て替えに着工

老朽化で建て替えが求められていた道立旭川肢体不自由児総合療育センター(旭川市春光台2条1丁目)の改築工事が現在の同センターの隣接地で始まりしました。まずは杭打ちをするための準備工事を進めており、2019年度内の利用開始を予定しています。延床面積は現在より約900㎡少ない6000㎡になり、一般病床45、親子病床15と現在より減りますが、多動性障害児の専用病室やリハビリ室などが拡充されます。1階が外来診療部門やリハビリテーション部門、2階を病棟とする2階建ての“家”をイメージした外観になる予定です。総合療育センターについては14年1月に稲津久衆院議員や旭川市議と共に老朽化の状況を調査、改築の必要性について道に求め15年6月に改築整備が決まりました。